

科目名		情報工学セミナー Seminar in Information Engineering		担当教員	全教員		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	6
分 野	専門	授業形式	演習	科目番号	10I04_31020	単位区別	履修
学習目標	指導教員の下で、学生それぞれが特定のテーマについての知識、技術の習得および研究を行う。基本的には、5年次の卒業研究と同じ形式で運用される。すなわち、情報工学関連のある特定の領域に関する調査、学習に引き続き、研究テーマを選定し、それぞれが問題解決へ取り組む。また、1年間の学習成果あるいは研究成果を報告書としてまとめ、それを口頭発表する。これらのプロセスを通して、情報工学の先端的知識および技術を習得するとともに、実務や新しい問題に創造的に立ち向かう方法や能力、プレゼンテーション能力を養うことを目的としている。						
進め方	卒業研究と同様に、指導教員の下で学生自身がテーマを設定し研究を行う。前期末および年度末には各自の研究成果を情報工学科の全教員とクラスの学生の前で口頭発表する。指導教員は、指導学生と定期的にミーティングを行う。指導に際しては、短期の目標を設定し、それに対する成果を評価するよう配慮する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	[過去のテーマの一部] 国井研究室 アンケート表認識プログラムの作成 野中研究室 Web 閲覧支援エージェントの作成 松下研究室 単旋律のための点字楽譜作成システム 宮武研究室 Web を利用した欠食届システムの開発 河田進研究室 二人零和有限確定完全情報ゲームにおける ゲーム木探索法の検証 鱈目研究室 ローカル i アプリサーバ用共通開発ツールの 作成 河田純研究室 文字認識ソフトウェアの作成 金澤研究室 i-appli による画像処理プログラムの開発 高城研究室 インタラクティブ G A によるモンタージュ 作成ソフトの開発 川染研究室 PC クラスタにおける計算性能の評価 篠山研究室 マルチプラットフォームを目指した翻訳チャ ットシステムの構築			適切な研究課題が設定できる E1:1-3 研究の背景や問題点の整理・分析ができる D3:1,2 自ら問題解決のアイデアを考案し、評価できる E1:1-3,E3:1-4 アイデアに基づき、問題を解決するための活動を行える E5:1,2 研究の成果をドキュメントとして文書にまとめることができる C2:1,2,C3:1-4 研究の成果をプレゼンテーションできる C4:1-8			
評価方法	各指導教員が学生それぞれの研究の取り組み、研究成果、報告書、口頭発表等を総合的に評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	指導教員や研究テーマごとに異なる						
教 材	指導教員が個別に用意する。						
備 考	特になし。						